

令和元年度

埼玉県後期高齢者医療広域連合
主要施策の成果報告書

目 次

1	令和元年度一般会計決算状況	1
2	一般会計主要施策の成果	4
3	令和元年度後期高齢者医療事業特別会計決算状況	6
4	後期高齢者医療事業特別会計主要施策の成果	9
	〈参考資料〉	12
	被保険者の加入状況	
	医療給付費の支給状況	
	高額療養費の支給状況	
	高額介護合算療養費の支給状況	
	移送費の支給状況	
	葬祭費の支給状況	
	保健事業の実施状況	
	後期高齢者医療費等に係る決算状況	

令和元年度一般会計決算状況

【令和元年度一般会計決算状況】

1 総括

令和元年度予算は、埼玉県後期高齢者医療広域連合の運営、管理に必要な各経費を主に計上しており、一般会計歳入歳出予算額は最終的に14億9,680万円となりました。

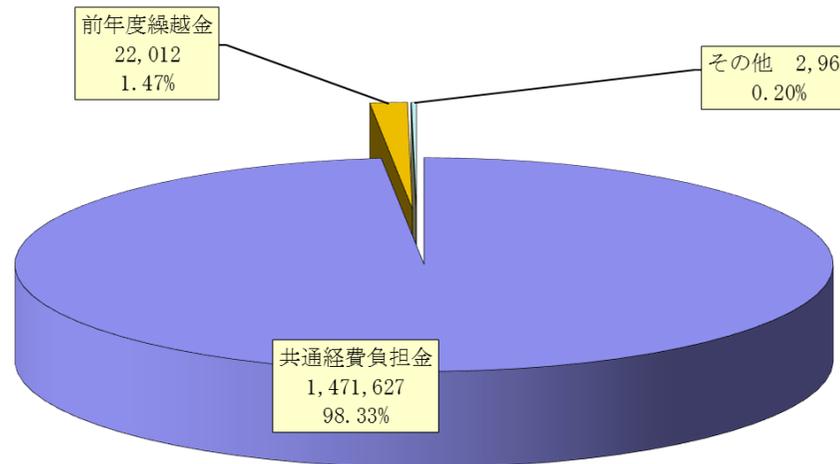
また、一般会計歳入歳出決算額は歳入が14億9,660万1千円であったのに対し、歳出は14億8,121万2千円であり、歳入歳出差引額は1,538万9千円となっております。令和元年度は、翌年度に繰り越すべき継続費通次繰越額や繰越明許費繰越額等はありませんので、実質収支額も同額となります。

2 歳入

構成市町村からの共通経費負担金が14億7,162万7千円で、歳入全体の98.33%、前年度繰越金が2,201万2千円で同1.47%、その他の収入額が296万2千円で同0.20%となっております。

歳入状況一覧

単位：千円



※その他の内訳		
特別調整交付金		2,577千円
預金利子		51千円
雑入		334千円

3 歳 出

目的別では、民生費が11億4,242万5千円で、歳出全体の77.13%、総務費が3億3,789万円で同22.81%、議会費が89万7千円で同0.06%となっております。

性質別では、繰出金が11億4,242万5千円で、歳出全体の77.13%、補助費等が2億7,249万5千円で同18.39%、物件費が5,151万4千円で同3.48%、人件費が1,477万8千円で同1.00%となっております。

歳出の目的別内容

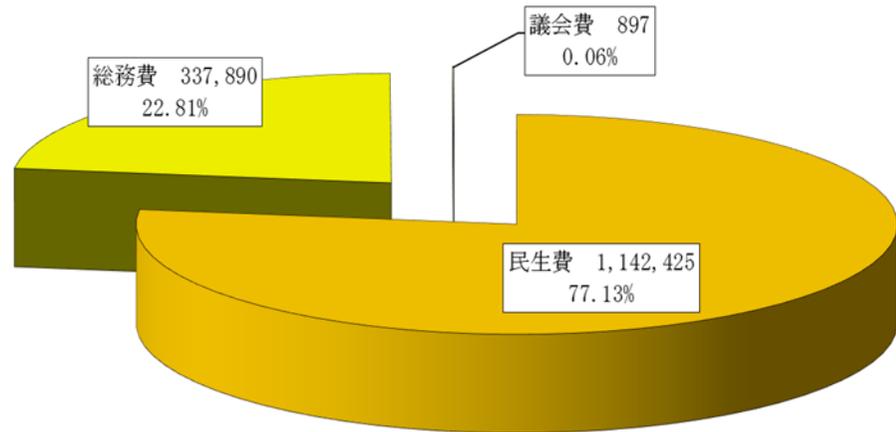
- 議会費 7月に臨時会、11月と2月に定例会、計3回の議会を開催し、広域連合の条例、予算案等を審議しました。
- 総務費 広域連合の運営や事務処理を円滑に執行しました。
- 民生費 後期高齢者医療制度事業に係る事務経費を特別会計に繰出しました。

歳出の性質別内容

- 人件費 議員報酬、非常勤職員報酬及び各種審議会等の委員報酬
- 物件費 各種の委託契約に係る経費や物品の購入費用等
- 補助費等 職員の派遣元自治体に支出している負担金や各種団体への負担金
- 繰出金 一般会計から特別会計への繰出金

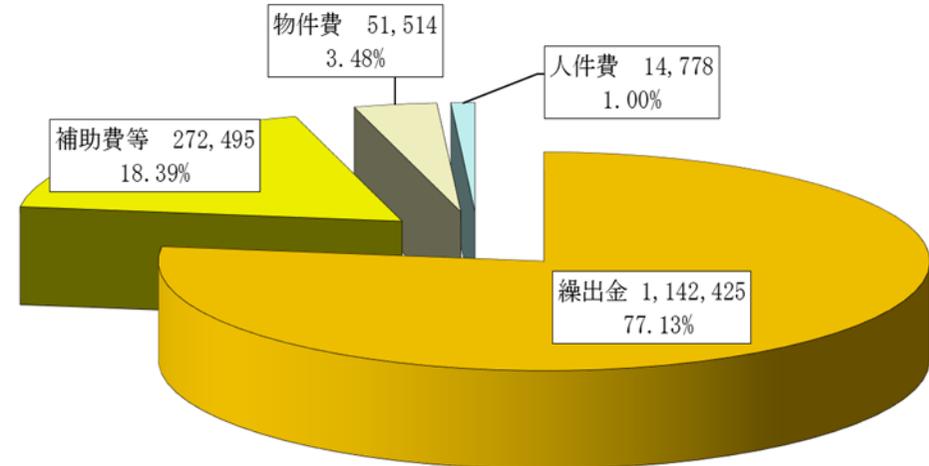
目的別歳出状況一覧

単位：千円



性質別歳出状況一覧

単位：千円



【一般会計】

主要施策の成果

【一般会計】主要施策の成果

議会費

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課				
広域連合議会運営事業	01 報酬	議員報酬	285	定例会2回及び臨時会1回を開催し、17議案の審議、審査を行った。
予算現額：1,439千円	09 旅費	費用弁償	12	
	11 需用費	消耗品費	3	
		食糧費	5	
	13 委託料	会議録作成委託料	451	
	14 使用料及び賃借料	議会会場使用料	141	
		計	897	

総務費

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課				
後期高齢者医療懇話会開催事業	08 報償費	高齢者医療懇話会報償金	409	懇話会を4回開催し、保険料率改定や介護予防との一体的実施に伴う広域計画の変更など、後期高齢者医療制度の円滑かつ適正な運営について、広く関係者の意見を聴いた。
予算現額：836千円	11 需用費	食糧費	4	
	12 役務費	通信運搬費	25	
		高齢者医療懇話会保険料	4	
	13 委託料	会議録作成委託料	130	
	14 使用料及び賃借料	会議室使用料	8	
		計	580	
総務課				
非常勤嘱託員雇用事業	01 報酬	非常勤職員報酬	12,392	職員の事務補助のため一般事務補助員5名、保健事業の推進のため保健師1名の嘱託員を雇用了。
予算現額：14,982千円	04 共済費	社会保険料	2,016	
	13 委託料	健康診断委託料	50	
		計	14,458	
総務課				
財政分析事業	13 委託料	財政分析委託料	702	財政状況分析、財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成を行った。
予算現額：715千円		計	702	
総務課				
電算機器運用・維持管理事業	13 委託料	情報機器運用委託料	3,506	情報系システム及び財務会計システムの機器類（サーバ・端末・プリンタ等）の調達・保守・運用管理、セキュリティ対策の業務やシステムITコンサルタントからの支援を受ける業務委託を行った。
予算現額：34,728千円		財務会計システム保守委託料等	2,315	
		広域連合システムITコンサルタント委託料	6,138	
	14 使用料及び賃借料	電算機器等賃借料	21,190	
		財務会計システム機器等賃借料	1,247	
	事務機器賃借料	207		
		計	34,603	
総務課				
事務局職員給与等負担金	19 負担金、補助及び交付金	事務局職員給与等負担金	271,983	事務局職員35名の給与等相当分に係る負担金を支払った。
予算現額：277,040千円		計	271,983	

令和元年度後期高齢者医療事業特別会計決算状況

【令和元年度後期高齢者医療事業特別会計決算状況】

1 総括

令和元年度予算は、医療給付費等に係る予算を中心に計上しており、特別会計歳入歳出予算額は最終的に7,788億402万2千円となりました。

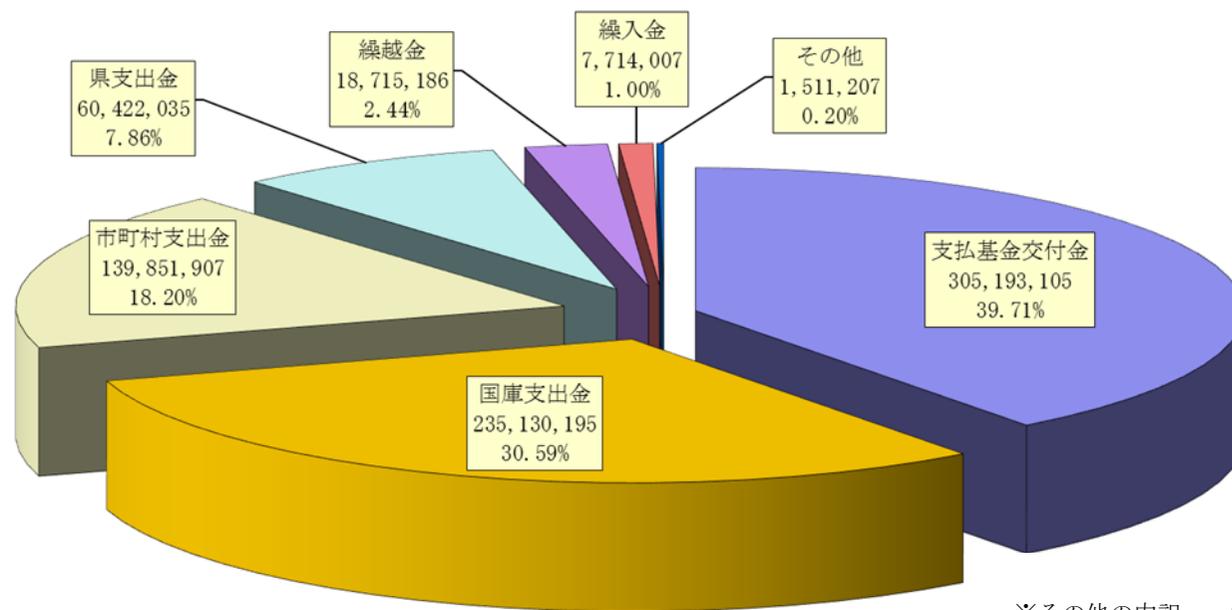
また、特別会計歳入歳出決算額は歳入が7,685億3,764万2千円であったのに対し、歳出は7,539億4,091万4千円であり、歳入歳出差引額は145億9,672万8千円となっております。令和元年度は、翌年度に繰り越すべき継続費逓次繰越額や繰越明許費繰越額等はありませんので、実質収支額も同額となります。

2 歳入

支払基金交付金が3,051億9,310万5千円で、歳入全体の39.71%、国庫支出金が2,351億3,019万5千円で同30.59%、市町村支出金が1,398億5,190万7千円で同18.20%、県支出金が604億2,203万5千円で同7.86%、前年度繰越金が187億1,518万6千円で同2.44%、繰入金が77億1,400万7千円で同1.00%、その他が15億1,120万7千円で同0.20%となっております。

歳入状況一覧

単位：千円



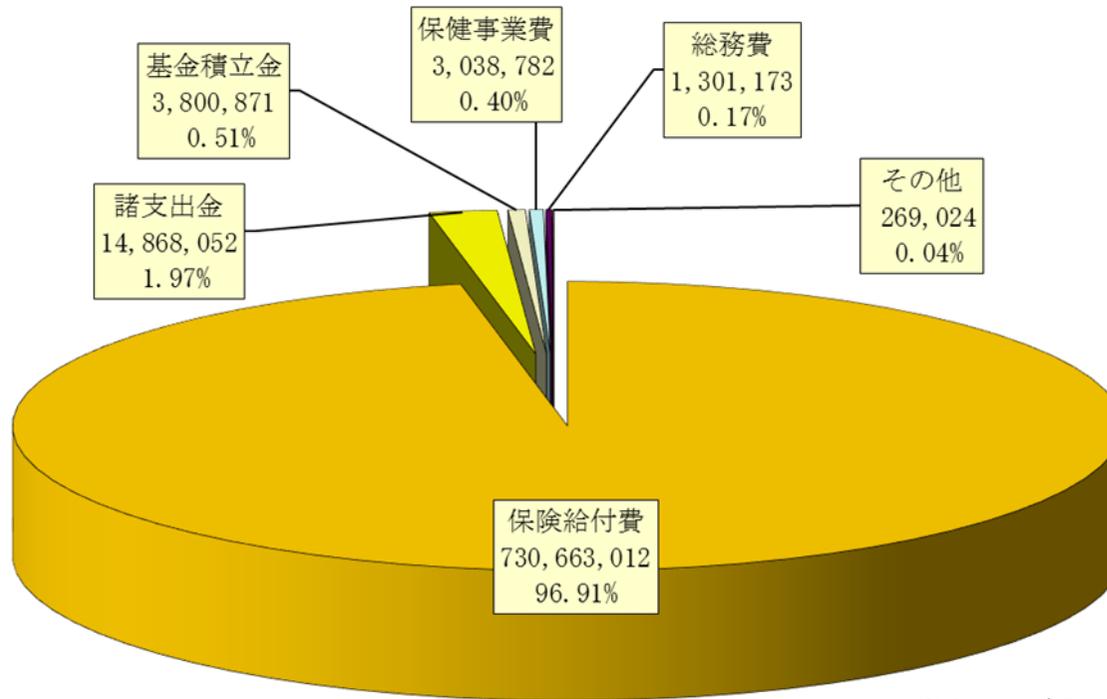
※その他の内訳	特別高額医療費共同事業交付金	307,729千円
	諸収入	1,203,203千円
	財産収入	275千円

3 歳 出

保険給付費が7,306億6,301万2千円で歳出全体の96.91%を占めており、諸支出金が148億6,805万2千円で同1.97%、基金積立金が38億87万1千円で同0.51%、保健事業費が30億3,878万2千円で同0.40%、総務費が13億117万3千円で同0.17%、その他が2億6,902万4千円で同0.04%となっております。

歳出状況一覧

単位：千円



※その他の内訳 特別高額医療費共同事業拠出金 269,024 千円

【後期高齢者医療事業特別会計】

主 要 施 策 の 成 果

【後期高齢者医療事業特別会計】主要施策の成果

総務費

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課				
電算機器運用・維持管理事業 予算現額：306,364千円	12 役務費	通信運搬費	164	後期高齢者医療電算処理システム（標準システム）の機器類（サーバ・端末・プリンタ等）の調達・保守・運用管理、セキュリティ対策の業務を行った。
	13 委託料	電算処理システム機器保守管理等委託料	47,029	
		システム運用業務委託料	30,578	
	14 使用料及び賃借料	広域連合システム機器等賃借料	184,772	
		計	262,543	
保険料課				
印刷製本事業 予算現額：15,117千円	11 需用費	印刷製本費	13,523	後期高齢者医療制度の広報・周知用印刷物を作成した。 被保険者証交付時用ミニガイド（113.5万部）、保険料納付通知書送付時用パンフレット（119万部）、被保険者証更新広報ポスター（1.1万枚）、保険料軽減特例の見直しに伴う周知用リーフレット（94.9万部）
		計	13,523	
保険料課				
被保険者証作成等事業 予算現額：70,284千円	13 委託料	被保険者証作成等業務委託料	67,716	年次一斉更新のための被保険者証の作成及び封入・封かんとあわせ、市町村が使用する年齢到達者用の被保険者証、封筒等を作成した。 一斉更新用被保険者証（93.2万部）、年齢到達者用被保険者証（26.5万部）
		計	67,716	
給付課				
後期高齢者医療に関する電算処理システム運用事業 予算現額：200,685千円	13 委託料	電算処理システム運用業務委託料	196,772	広域連合の電算処理システムの円滑な運用を図るため、資格管理業務、賦課業務、収納業務、給付業務に係る運用業務を委託により実施した。
		計	196,772	
給付課				
レセプト点検事業 予算現額：97,046千円	13 委託料	レセプト点検委託料	91,450	医療給付費の適正化を図るため、診療報酬明細書等（レセプト）の内容点検業務を委託により実施した。
		計	91,450	
給付課				
後期高齢者医療に関する医療費通知事業 予算現額：106,764千円	13 委託料	医療費通知作成業務委託料	91,364	適正受診の促進及び医療機関からの不正請求防止のため、医療費通知の作成等の業務を委託により実施した。 (3回送付 計2,696,307通× @31円×消費税)
		計	91,364	
給付課				
損害賠償求償事業 予算現額：19,124千円	13 委託料	損害賠償求償事務委託料	17,583	交通事故等の第三者行為に係る医療費を請求するため、損害賠償求償事務を委託により実施した。 件数割（608件×@1,600円） 求償割額（664,394,107円×2.5%）
		計	17,583	
給付課				
ジェネリック医薬品利用差額通知事業 予算現額：17,325千円	13 委託料	ジェネリック医薬品利用差額通知業務委託料	16,880	医療給付費の適正化を図るため、ジェネリック医薬品利用差額通知の作成及び発送等の業務を委託により実施した。 (1回送付 計103,684通× @148円×消費税)
		計	16,880	

保険給付費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課 療養給付等支払事業 予算現額：737,910,333千円	19 負担金、補助及び交付金	療養給付費等	714,953,179	被保険者が安心して医療を受け続けるため、審査を経た保険医療機関等からの診療報酬明細書等（レセプト）に基づき、診療報酬等を支払った。
		計	714,953,179	
給付課 訪問看護療養費支払事業 予算現額：3,737,217千円	19 負担金、補助及び交付金	訪問看護療養費	3,737,216	被保険者が安心して訪問看護を受け続けるため、被保険者が居宅において、訪問看護ステーションの看護師等から訪問看護を受けた場合の訪問看護療養費を支払った。
		計	3,737,216	
給付課 診療報酬明細書等審査支払事業 予算現額：1,658,855千円	13 委託料	審査支払委託料	1,613,023	適正な医療費を支払うために、保険医療機関等から請求のあった診療報酬明細書等（レセプト）について請求内容の審査事務及び診療報酬等支払事務を委託により実施した。 (審査支払手数料 27,934,824件×@57円、レセプトオンライン請求システム手数料 27,259,118件×@0.76円・2,131,238件×@0.01円※過年度不足分)
		計	1,613,023	
給付課 高額療養費支給事業 予算現額：7,692,230千円	19 負担金、補助及び交付金	高額療養費	7,027,015	被保険者の負担軽減のため、1か月に支払った一部負担金の合計が自己負担限度額を超えた場合、または、一年間の外来分の自己負担額の合計が自己負担限度額を超えた場合、申請により自己負担限度額を超えた金額を高額療養費として支給した。
		計	7,027,015	
給付課 高額療養費（外来年間合算）支給事業 予算現額：220,144千円	19 負担金、補助及び交付金	高額療養費外来年間合算	220,014	被保険者の負担軽減のため、1年間（8月1日～翌年7月31日）に支払った外来分の一部負担金の合計が自己負担限度額を超えた場合、申請により限度額を超えた金額を高額療養費として支給した。
		計	220,014	
給付課 高額介護合算療養費支給事業 予算現額：876,362千円	19 負担金、補助及び交付金	高額介護合算療養費	816,980	被保険者の負担軽減のため、1年間（8月1日～翌年7月31日）に支払った医療保険と介護保険の自己負担額を合算し、限度額を超えた場合、申請により限度額を超えた金額を高額介護合算療養費として支給した。
		計	816,980	
給付課 葬祭費支給事業 予算現額：2,373,000千円	19 負担金、補助及び交付金	葬祭費	2,295,550	葬祭費用を補助するため、被保険者が死亡した場合、申請により葬祭執行者に対して葬祭費を支給した。（葬祭費45,911件×@50,000円）
		計	2,295,550	

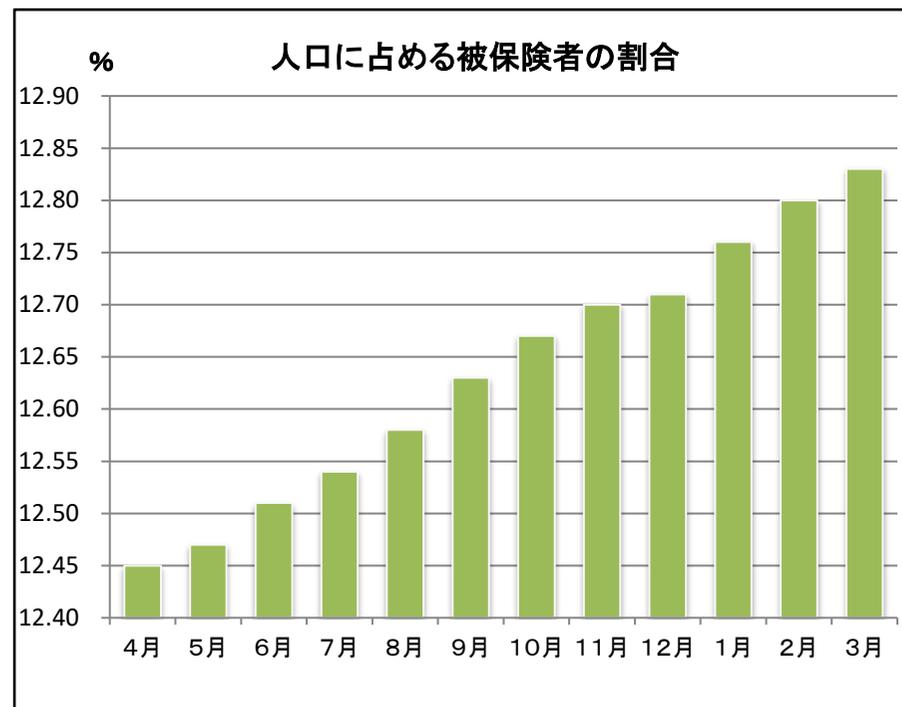
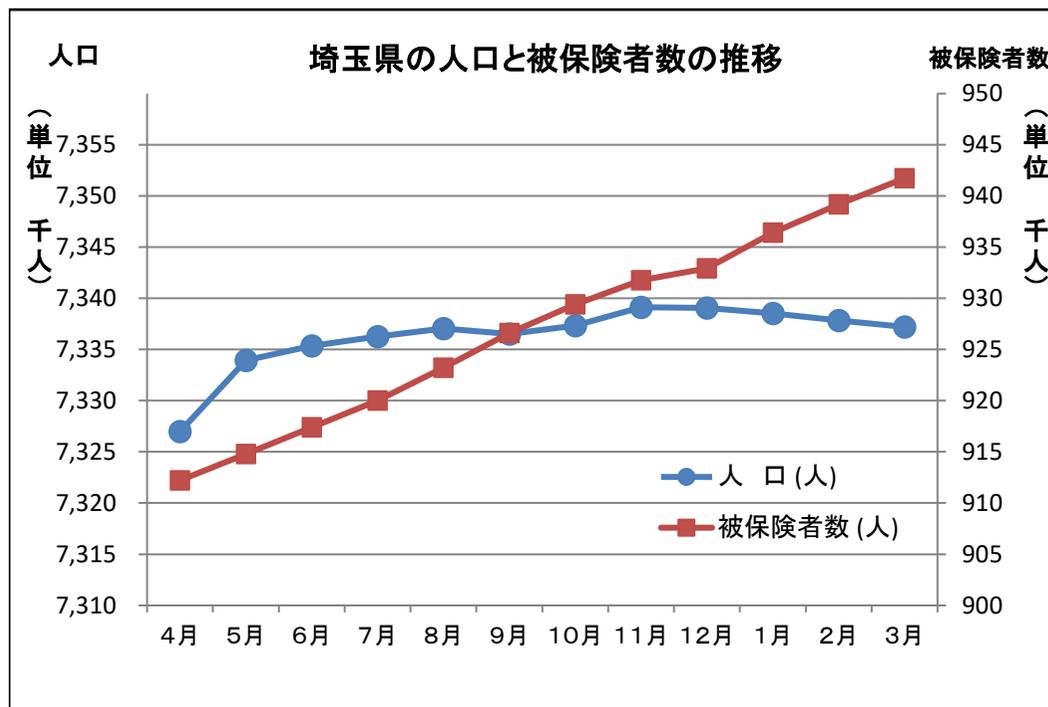
保健事業費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課 健康診査事業 予算現額：2,959,080千円	13 委託料	健康診査委託料	2,481,400	被保険者の健康保持・増進のため、各市町村への業務委託により健康診査を実施した。（受診者数：298,521人 受診率：34.8%）
		計	2,481,400	
給付課 歯科健康診査事業 予算現額：81,220千円	13 委託料	歯科健康診査委託料	47,306	埼玉県歯科医師会への業務委託により、前年度75歳年齢到達者を対象に歯科健康診査を実施した。（受診者数：8,276人 受診率：8.9%）
		計	47,306	

〈 参 考 资 料 〉

被保険者の加入状況(令和元年度)

	平成31年	令和元年									令和2年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人口(人)	7,326,981	7,333,929	7,335,344	7,336,254	7,337,045	7,336,524	7,337,330	7,339,129	7,339,069	7,338,536	7,337,835	7,337,204	
被保険者数(人)	912,221	914,793	917,417	920,013	923,203	926,603	929,419	931,769	932,918	936,423	939,195	941,729	
人口に占める被保険者の割合(%)	12.45	12.47	12.51	12.54	12.58	12.63	12.67	12.70	12.71	12.76	12.80	12.83	



注:人口は、埼玉県推計人口(毎月1日現在)による。
被保険者数は、広域連合の事業状況報告書A表(毎月月末現在)による。

○医療給付費の支給状況

件数：28,817,219件(レセプト件数・支給件数) 総額：726,754,438,440円 一人当たりの給付費：786,221円

○高額療養費の支給状況(再掲)

件数：896,573件 総額：7,247,029,021円(1件当たり：約8,083円)

○高額介護合算療養費の支給状況(再掲)

件数：53,594件 総額：816,979,996円(1件当たり：約15,244円)

○移送費の支給状況(再掲)

件数：3件 総額：34,090円(1件当たり：11,363円)

○葬祭費の支給状況

件数：45,911件 総額：2,295,550,000円

○保健事業の実施状況

健康診査受診者数：298,521人 受診率：34.8%

歯科健康診査受診者数：8,276人 受診率：8.9%

<参考>市町村における保険料収納状況

現年度分		割合※	調定額(円)	収納額(円)	収納率
	特別徴収	59.6%	40,670,338,500	40,670,338,500	100.00%
普通徴収	40.4%	28,031,131,060	27,585,627,941	98.41%	
計	100.0%	68,701,469,560	68,255,966,441	99.35%	
滞納繰越分			807,418,344	291,068,088	36.05%
合計			69,508,887,904	68,547,034,529	98.62%

※ 収納額により算出 後期高齢者医療事業状況報告書(事業年報)B表(1)から

<参考>低所得者への軽減状況

	軽減判定所得区分(世帯)	被保険者数(人)	軽減額(円)
均等割8割軽減	33万円以下で、世帯の被保険者全員が年金収入80万円以下かつその他の各種所得がない	189,895	6,334,897,200
均等割7(8.5)割軽減	33万円以下	162,700	5,767,715,000
均等割5割軽減	33万円+(28×被保険者数)万円以下	96,784	2,017,946,400
均等割2割軽減	33万円+(50×被保険者数)万円以下	121,759	1,015,470,060
均等割5割軽減(被扶養)	制度加入直前に被用者保険の被扶養者であった者	6,461	134,711,850

()内は実際の軽減割合

出納閉鎖直前の賦課状況(月次調定集計表)から 令和元年現年度分のみ

○後期高齢者医療費等に係る決算状況

特別会計決算の中で、後期高齢者医療制度の事務執行に係る経費を除いた療養の給付費等に要する費用や保険料を財源として執行した事業費等の決算状況（後期高齢者医療費等に係る決算状況）を別にとりまとめました。

医療費等に係る歳入については、全体で7,671億263万1千円となっており、その内訳は支払基金交付金（現役世代からの支援金）が3,051億9,310万5千円で医療費に係る歳入全体の39.79%、国庫負担金（高額医療費負担金含む）が1,811億5,044万5千円で同23.61%、保険料負担金（市町村で徴収した保険料）が687億388万円で同8.96%、埼玉県からの療養給付費負担金（高額医療費負担金含む）が604億2,203万5千円で同7.88%、市町村からの療養給付費負担金が585億5,993万円で同7.63%、国からの調整交付金が519億3,132万8千円で同6.77%、前年度繰越金が184億4,608万7千円で同2.40%、保険基盤安定負担金が125億8,809万7千円で同1.64%、保険給付費支払基金の取崩し額が65億7,158万2千円で同0.86%、保険料減額措置等に係る保険料補てん分の交付金が17億1,148万3千円で同0.22%、健康診査事業に係る補助金が2億5,083万6千円で同0.03%、その他15億7,382万3千円で同0.21%となっております。

医療費等に係る歳出については、全体で7,526億3,974万1千円となっており、その内訳は療養給付費（訪問看護費、高額療養費など含む）が7,267億5,443万8千円で医療費に係る歳出全体の96.56%、償還金が147億4,642万6千円で同1.96%、基金積立金（保険給付費支払基金）が38億87万1千円で同0.51%、健康診査事業に要する費用（健康相談訪問指導に要する経費を含む）が25億4,853万2千円で同0.34%、葬祭費が22億9,555万円で同0.30%、審査支払手数料が16億1,302万3千円で同0.21%、長寿・健康増進事業に要する経費が4億9,025万円で同0.07%、その他が3億9,065万1千円で同0.05%となっております。

なお、これらについて図に表したものが次ページ「令和元年度 埼玉県後期高齢者医療費等に係る歳入歳出決算の概要」です。

令和元年度 埼玉県後期高齢者医療費等に係る歳入歳出決算の概要

①歳入（後期高齢者医療費等に係る収入）

7,671 億円

(A) 国庫負担金 (高額医療費負担金含む) 1,812 億円 23.6% 対象額の3/12	(B) 調整交付金 (国庫) 519 億円 6.8%	(C) 県負担金 (高額医療費負担金含む) 605 億円 7.9% 対象額の1/12	(D) 市町村 負担金 585 億円 7.6% 対象額の1/12	(E) 支払基金交付金 (現役世代からの支援金) 3,052 億円 39.8% 対象額の4/10、現役並み被保険者分	(L) 保険料 負担金 687 億円 9.0%
実績見込 1,738 億円	実績見込 519 億円	実績見込 604 億円	実績見込 567 億円	実績見込 3,046 億円	

- (F) 繰越金
184 億円 2.4%
- (G) 保険基盤安定負担金等
126 億円 1.6%
(県3/4 市町村1/4)
- (H) 保険料軽減補填
17 億円 0.2%
- (I) 健診事業補助金
2 億円 0.0%
- (J) 第三者納付金等
16 億円 0.2%
- (K) 保険給付費支払基金繰入金
66 億円 0.9%

②歳出（後期高齢者医療等に係る支出）

7,526 億円

(M) 療養の給付等に要する費用 (療養給付費・訪問看護費・高額療養費・高額介護合算療養費など) 7,268 億円 96.6%	保険料充当分 631 億円	保険料充当分 56 億円
--	------------------	-----------------

- (N) 償還金
147 億円 2.0%
- (O) 保険給付費支払基金積立金
38 億円 0.5%
- (P) 長寿・健康増進事業費等
5 億円 0.1%

- (Q) 審査支払手数料等
16 億円 0.2%
- (R) 葬祭費
23 億円 0.3%
- (S) 健康診査事業費
25 億円 0.3%
- (T) その他
4 億円 0.0%

③決算剰余金

歳入(7,671 億円) - 歳出(7,526 億円) = 145 億円

	決 算 額	実 績 見 込 額	返 還 予 定 額	追 加 予 定 額
国庫負担金精算	1,812 億円	1,738 億円	74 億円	0 億円
県負担金精算	605 億円	604 億円	1 億円	0 億円
市町村負担金精算	585 億円	567 億円	20 億円	2 億円
支払基金交付金精算	3,052 億円	3,046 億円	6 億円	0 億円
健診事業補助金精算	2 億円	2 億円	0 億円	0 億円
調整交付金精算	519 億円	519 億円	0 億円	0 億円
円滑運営臨時特例交付金	17 億円	17 億円	0 億円	0 億円
計			101 億円	2 億円

④保険給付費支払基金積戻額

◎決算剰余金(145 億円) - 返還・追加予定差引合計額(99 億円) = 46 億円 (歳出に対して0.6%)

※金額は億円単位としているため、実際の決算額とは一致しません。